



完全版を
WEBで
公開中！



著書『丁寧な暮らしをする餓鬼』が 日本漫画家協会賞 受賞！

ツイッターの投稿が
日本漫画家協会賞に!?

すでに連載が始まっていた『あおのたつき』のキャラクターを考えている中で、なんとなく餓鬼(ガッキー)を描きました。当時、SNSで「丁寧な暮らし」を発信する人が多く、そこに見える承認欲求に注目して誕生したのが『丁寧な暮らしをする餓鬼』です。ちょうどお彼岸だったので、ネタ的にツイッターに投稿したことが始まりでした。



初投稿は「ビニール袋を三角に折って収納する餓鬼」

実は、最初に反応してくれたのはお坊さんでした。お経が添えられてツイットされていたので、最初は「怒られてる?!」と焦りましたが、餓鬼に食事を施し供養する「施餓鬼」というお経だと知って安心しました(笑)。そこから檀家さんの間で広がっていき、投稿から1か月後にはフォロワーが4万人を超えていました。



顔出しをせず活動をされている塵芥さんに、漫画家協会賞の授賞式と同じ牛鬼の被り物姿で出演していただきました。(市役所市民交流棟にて)

漫画家 塵芥居士

ちりあくたこじ

1984年中之庄町生まれ
東京都在住
三島幼稚園→中之庄小→三島西中
→済美高(美術科/松山市)
大学卒業後デザイナーとして就職。
その後独立し10年間フリーランスでWEBデザインを手掛ける。
2019年『あおのたつき』で漫画家デビュー。同年Twitterで『丁寧な暮らしをする餓鬼』を投稿開始。
2022年同作品が第51回日本漫画家協会賞カーズ部門大賞受賞。
2023年笑顔のえひめ文化・スポーツ賞(文化)受賞

ガッキーツイッター

基本的に作中でガッキーの表情は変わりません。顔の向きも同じです。描くのが面倒というのもあるのですが(笑)、ツイッターのアイコンってツイートの内容によって変わったりしませんよね。それと同じです。「周りに認められたい」という承認欲求の餓鬼として描かれたガッキーは、ツイッター、そして「私」から、生まれるべくして生まれた存在だと思えます。

私も認められたかった

子どもの頃から絵を描くことが好きでした。漫画家になんか作った漫画を持って即売会に参加していました。大学在学中のデビューが叶わず、デザイナーとして就職したのですが、そこでデザインの楽しさを知りました。自分の仕事が評価されるようになったとき「漫画でなくても良かったんだ」と思いました。子どもの頃、勉強が得意では

『あおのたつき』(安達智名義)
(1~11巻 マンガボックス/コアミックス)



江戸最大の遊廓・新吉原で、気がつくと思知らぬ神社に迷い込んでいた、売れっ子遊女のおお。そこは浮世と冥土のはざま『鎮守の社』だった…!

漫画アプリ「マンガボックス」で連載中

『丁寧な暮らしをする餓鬼』
(全3巻 KADOKAWA)



コーヒー豆を半日かけてすり鉢ですったり、ビニール袋を三角形に畳んだり…。優しく心の清い餓鬼「ガッキー」が送る丁寧な生活を描いた四コマ漫画。

日本漫画家協会賞カーズ部門大賞受賞

ふるさと四国中央市

漫画はエンタメです。人に楽しんでもらうことが好きでなければ、ゴールにはたどり着けません。漫画を通して自分が好きなものをプレゼンしたいと考えている人の作品が、多くの方に届くのだと思います。好きなことを見つけてください。私にとつてそれは「デザイン」でした。

料理が好きで、帰省すると必ずスーパリーの鮮魚コーナーに行きます。東京では見ない魚介類を見つけたらうれしくなって、それが何か知らないまま買って帰ります。ミミイカをニンニクと炒めたらとても美味しかったです。墨袋を取るのを忘れて真っ黒になりました(笑)。中学時代は眩しくて暑くて嫌だった燧灘に沈む夕陽が、今はとても好きです。地元を離れて気付いた魅力の一つです。

ガッキーで地方を元気に

漫画としての『丁寧な暮らしをする餓鬼』は完結しましたが、ツイッターで繋がった地方の伝統工芸とのコラボが進んでいきます。餓鬼を通じて地方の素晴らしい技術や名品を知ってもらい、地域にお金が落ちるようにできればと考えています。私が好きなデザインで、地方創生ができればうれしいです。

漫画家を目指す人へ

漫画を描く上で大事なことは「伝えたい」という気持ちと「楽しませたい」という気持ちです。